



2025年2月26日

各 位

会 社 名 株式会社シャルレ
代表者名 代表取締役社長 林 勝哉
(コード番号 9885 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 千本松 重雄
(TEL 078-302-7338)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年11月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、特別損失の発生につきましても併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,100	△360	△340	△370	△23.70
今回修正予想 (B)	11,650	△800	△780	△850	△54.02
増減額 (B - A)	△450	△440	△440	△480	
増減率 (%)	△3.7	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	13,168	557	615	585	37.01

(2) 修正の理由

売上高につきましては、レディースインナー等販売事業で定番商品の不振に加えて数量限定商品の売上も想定以上に減少し、子会社のウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業も主力商品のシャワーヘッドの不振や新商品の販売も伸びていないことから、前回予想を下回る見通しです。

利益面につきましては、レディースインナー等販売事業の売上が減少したことから棚卸資産評価損が増加し、後述する事務所閉鎖にともなう固定資産の耐用年数の変更や、中期経営計画の推進に関するコストの増加などにより利益が大幅に減少しました。またウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業では、粗利率の高いシャワーヘッドの販売不振から売上総利益が減少することから、営業利益・経常利益は前回予想を下回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失(事務所移転損失)が発生するため、前回予想を下回る見込みです。

2. 特別損失の発生及びその理由

2024年4月に組織の風土改革と施設維持管理コストの効率化を目的に本社ビルの移転を行い、新たな事務所を2ヵ所(ポートアイランドオフィスと三宮オフィス)開設しましたが、2024年10月に策定した「シャルレグループビジョン」及び中期経営計画の見直しにともない、全社の人的リソースの最適化・業務効率の向上・代理店、ビジネスメンバーの支援方法の改革を目的として、営業体制を大幅に変更することとし、三宮オフィスを閉鎖し、営業機能を東京オフィスと本社に振り分ける事を決定しました。三宮オフィスの撤去にともなう原状回復工事や移転費用等が44百万円発生する見込みで、その費用を特別損失(事務所移転損失)として計上します。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

以 上